

# 5. ワクチンをめぐると問題

新型コロナウイルスのワクチン接種が自治体や医療機関、職域などで進んできました。ワクチンの接種は発症や重症化を予防する効果が期待されています。

ワクチン接種は努力義務であり強制されるものでもありません。それにもかかわらず、接種を受けていない人に対して、「接種しないなら退職を」「打たないなら別居を考える」などの発言や差別的な取り扱いが生じました。






政府は、新型コロナウイルスのワクチンを接種していないことを理由に解雇や減給、配置転換、取引中止などの不利益な取り扱いをするのは不適切だとする答弁書を2021年2月に閣議決定しました。

SNS上では、ワクチンにかかわるデマも流布しました。それは、「遺伝情報が書き換えられる」「ワクチンを打った腕に磁石がつく」「ワクチン接種で不妊になる」などの情報でした。

このような情報に関しては、科学的根拠がないとして多くの専門家が否定、内閣府や厚生労働省、世界保健機関(WHO)も注意を促しています。また、IT企業の中でも、このようなデマに対する取組を行っています。

インターネット上にあるものは正しい情報ばかりとは限りません。国や行政機関から正しい情報を得ることが大切です。

## ワクチンデマに対する取組

 米フェイスブック	保健当局や専門家が否定した情報に関する投稿は削除
 米ツイッター	誤解を招く投稿はリツイート(転載)や「いいね」の返答を不可に
 米グーグル	信頼性の高いニュースや保健当局などの情報を検索結果上位に表示
 ヤフー	デマを打ち消す記事を積極的に配信。専門家と共同で正確な記事の作成も
 ライン	中央官庁や自治体が公式アカウントで情報発信



新型コロナワクチンについてのより詳しい情報はこちらから▼

